

くろゆり通信



第118号 平成26年1月発行
 発行者 国土交通省中部地方整備局
 天竜川上流河川事務所
 小渋川砂防出張所
 小渋川支部安全協議会

謹賀新年

今回のくろゆり通信では、年始のご挨拶と大鹿村内で実施している工事などについて紹介致します。

新年明けましておめでとうございます。村民並びに関係の皆様にはいつも当事務所の砂防事業実施に格別のご協力を頂き、特に昨年5月には天竜川上流での洪水、土砂災害に備えた水防演習及び大規模土砂災害対応演習にご参画頂いたこと改めて御礼申し上げます。また、小渋川砂防出張所管内の砂防事業及び入谷地区での直轄地すべり対策事業等、当事務所の進めております様々な事業を支えて下さっている建設業の皆様にも重ねて御礼申し上げます。

直轄砂防事業を1937(昭和12)年に小渋川流域で開始して今年で77年となります。人間で言えば喜寿ではありますが、安全・安心確保のための営みとしてはまだまだ道半ばです。当事務所としては、皆様のご協力を頂いて天竜川上流域において治水砂防行政の面から社会・経済を支えるべく努めて参ったところでありますが、今年には当事務所にとってもおそろしく三六災害に次いで大きな変化の年ではないかと感じております。微力ではありますが、日本でも最も美しい村の1つ・大鹿村の貴重な歴史文化が生き生きと保たれるよう、きちんとした事業展開に裏打ちされた情報発信を心掛け、皆様とご一緒に後世に評価頂ける仕事をすべく、事務所・出張所が丸ごと取り組んで参りたいと思っております。

二〇一四年 元旦

天竜川上流河川事務所長

中谷 洋明



現場代表者に聞いてみた

現在、小渋川砂防出張所管内にて施工中の9件の工事について、現場の代表者へ工事目的や特徴、苦勞した点などについて質問をしました。今回はその中の4件について紹介します。

工事名/会社名/現場代表者	なにをする工事ですか？	現場での苦勞や課題は？	地域の皆様へ一言！
平成24年度 天竜川水系 女高護岸工事 株式会社 三六組 春日 茂樹	本工事は、古くなった護岸直す工事です。この護岸工事の特徴として、コンクリートの使用量が少なく、自然石の合端から生まれる適度な隙間が、動植物の良好な生息空間を生み出し、より自然に近い工法です。	現況の地形・植生を保存する為、使用する機械に制限があり、小型機械・人力併用で環境を乱さないように心掛け施工を行っています。	工事でご迷惑をお掛けしております。現在、進捗率約50%のところ。安全を第一に考え、無事故・無災害で工事完成を迎えられるよう施工して参りたいと思っております。今後、ご協力をお願い致します。
平成25年度 天竜川水系 入谷地すべり抑制工事 勝間田建設株式会社 大蔵 廣光	直径3.5mの集水井を深さ18mと21m各1基掘削し、そこから集水のためのボーリングを行い、地下水を集め取り除き斜面の安定をはかる工法です。	地すべり地帯の工事なので、軟弱な地盤・地質の箇所が多く地山の肌落ちや岩盤掘削等で苦勞しました。また、横方向へ70m以上に渡りボーリング削孔を行う作業においては、視認できない地中を如何にして真っ直ぐに掘り進めるかが課題となり、削孔箇所の周囲にモルタルを注入し固めることで精度確保に努めました。	早期に完成できるよう努力してまいりますので、今後、ご理解、ご協力をお願い致します。
平成25年度 天竜川水系 沢戸3号、4号床固補強工事 大畑建設株式会社 堀内 隆浩	長年にわたる河川流水と一緒に流れる砂礫等の浸食により床固工が損傷したため、水通し部に厚さ5cmのゴム製品を設置し、床固工を補強する工事です。	当社としては初めて使用する製品(工法)であり、日々試行錯誤の連続です。古い床固工を取り壊す際にどうしても騒音が発生してしまうため、最短期間で終わらせるよう努力しています。	工事中は周辺の方々にご迷惑をおかけしますが、安全第一を念頭に工事を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
平成25年度 天竜川水系 小渋管内CCTV設備工事 TOSHIBA 東洋通信インフラシステム株式会社 谷口 茂士	堰堤や渓流の状況を監視するカメラ装置の設置を行なっています。監視カメラによりリアルタイムな河川状況を確認する事ができ、水害や土砂災害による重大な被害を未然に防ぐことを目的としています。	工事期間が冬期となるため、降雪量や路面の凍結には十分注意し、1日でも早く工事が完成できるように施工してまいります。	工事期間中は一部通行規制を行なう場所があり、地域の皆様方には大変御迷惑をお掛け致しますが安全第一に勤めてまいりますので、ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。